

令和3年5月27日（木）

第5回定例教育委員会会議録

我孫子市教育委員会

1. 招集日時 令和3年5月27日(木) 午後2時
2. 招集場所 教育委員会 大会議室
3. 出席委員 教育長 丸 智彦 委員 長谷川浩子  
委員 足立 俊弘 委員 蒲田 知子  
委員 村松 弘康
4. 欠席委員 な し
5. 出席事務局職員  
教育総務部長 飯田 秀勝 生涯学習部長 木下登志子  
教育総務部次長兼学校教育課長 鈴木与志実  
生涯学習部次長兼公民館長兼生涯学習センター長兼生涯学習課長 菊地 統  
総務課長 森田 康宏 教育研究所長 遠藤 美香  
生涯学習部参事兼鳥の博物館長 丸山 正晃  
文化・スポーツ課長兼白樺文学館長兼杉村楚人冠記念館長 辻 史郎  
指導課長兼小中一貫推進室長 佐々木祐子  
少年センター長 齋藤絵里香 図書館長 宇賀神 修
6. 欠席事務局職員 な し

午後 2 時 0 0 分開会

○丸教育長 ただいまから令和 3 年第 5 回定例教育委員会を開会いたします。

---

#### 会議録署名委員指名

○丸教育長 日程第 1、我孫子市教育委員会会議規則第 3 1 条の規定により、会議録署名委員を指名します。村松委員にお願いします。

---

#### 議案第 1 号

○丸教育長 日程第 2、議案の審査を行います。

議案第 1 号、我孫子市文化財審議会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 議案第 1 号、我孫子市文化財審議会委員の委嘱についてです。

提案理由は、我孫子市文化財審議会委員の任期満了に伴い、我孫子市文化財の保護に関する条例第 1 9 条第 1 項の規定に基づき、我孫子市文化財審議会委員を新たに委嘱するため、提案するものです。

委嘱期間は令和 3 年 6 月 1 日から令和 5 年 5 月 3 1 日までの 2 年間です。委嘱年月日は令和 3 年 6 月 1 日です。委嘱人数は下の 7 名で、いずれも再任です。

我孫子市文化財審議会委員は、我孫子市文化財の保護に関する条例第 1 8 条の規程に基づき設置された我孫子市文化財審議会において、文化財の保存及び活用に関する事項を調査・審議し、必要な事項について建議を行うため、文化財に関し専門知識を有する者に、教育委員会が委嘱するものとなっております。以上です。

○丸教育長 以上で説明が終わりました。

これより質疑を許します。質疑があれば挙手をお願いします。——よろし

いでしょうか。

それでは、議案に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 これより採決いたします。

議案第1号、我孫子市文化財審議会委員の委嘱について、原案に賛成の委員は挙手願います。

(賛成者挙手)

○丸教育長 挙手全員と認めます。よって議案第1号は可決されました。

---

### 諸 報 告

○丸教育長 日程第3、諸報告を議題といたします。

事前に配付された事務報告、事務進行予定資料などに補足する説明や追加する事項はありますか。

それでは、初めに、市内小中学校の修学旅行と林間学校について、飯田教育総務部長からお願いします。

○飯田教育総務部長 4月の教育委員会定例会では、5月に修学旅行を実施予定の中学校3校について、8月以降に延期するとの報告をしましたが、6月に修学旅行を実施予定の中学校3校についても、現在の千葉県や全国の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、同様に8月以降に延期としました。併せて、5月、6月に長野県と福島県で予定していた中学校全校の林間学校についても、残念ですが、8月以降に延期しました。

小学校については、6月、7月に林間学校を実施予定の6校について、8月以降に延期しました。修学旅行については、全校が日光方面を予定していますが、中学校と同様に、6月に修学旅行を実施予定の2校について、8月に延期しました。延期した学校については、宿泊日数や行き先の変更も含めて、8

月以降に実施できるよう各学校で検討しています。以上です。

○丸教育長 質問等ありましたらお願いします。——よろしいですか。

続きまして、市内小学校の運動会について、佐々木指導課長からお願いします。

○佐々木指導課長 5月に行われた小学校の春の運動会について報告します。

5月22日（土曜日）に、我孫子第一小学校、我孫子第三小学校、湖北小学校、高野山小学校、並木小学校の5校、5月23日（日曜日）に布佐小学校が実施しました。5月29日（土曜日）には、我孫子第二小学校、我孫子第四小学校、湖北台西小学校の3校が予定しています。まん延防止等重点措置期間中ですが、準備段階から感染症予防対策を講じて実施しました。各学年の種目を体育の学習観点から精選し、練習時間の短縮を図り、密にならない体系や練習方法を考えて進めました。運動会当日は、学年入替え制や2学年ずつ3部制で参加して時間を短縮しました。また、応援を制限し、保護者の参加を入替え制にしながら、実施しました。開催の方法は今までと異なりますが、運動会が実施できたことで子どもたちの充実感につなげることができました。今後も新しい生活様式に合わせた新しい行事のあり方を考えながら、業務改善の視点を持って取り組みを進め、学校でしかできないことを続けていきたいと考えています。以上です。

○丸教育長 ご質問等ありましたらお願いします。——よろしいですか。

続きまして、我孫子市文化財報告第17集『志賀直哉「十一月三日午後の事」を歩く』につきまして、辻文化・スポーツ課長からお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 『十一月三日午後の事』は小説で、「大正7年11月3日に志賀直哉が体験したものを日記として記録した」と書かれているのですが、我孫子のことがとても詳細に書かれていて、日記というよりはむしろ資料として非常に有効なものだと考え、検証に至ったものです。

志賀直哉は大正4年から12年まで我孫子に在住していて、我孫子を題材にした小説を何遍か書いておりますが、周囲のことについては、今まで詳細に書いたことがないとされてきました。こちらの小説を読みますと、そういった今までの既成概念を崩すようなことが書かれています。

例えば3ページ、志賀直哉の住宅が現在の白樺文学館のはす向かいのところにあるのですが、現地を見てみますと、そのあたりの描写についてもかなり整合性のある書き方をしています。この小説の中では、大きな題材として、柴崎にカモを買いに行く話と途中で軍隊の行軍に出会う話があるのですが、5ページから6ページあたりをひもといていきますと、実際にそのときに軍隊の演習が行われていたという記録が新聞報道も含めて確認できます。小説の中では「11月にしては気温が暑く非常に不愉快な日であった」と書いているのですが、実際に当時の天気図をみても、季節外れの台風が日本海側を通過している様子を確認することができます。

また、実際の歩くルートを見ると、我孫子第一小学校の裏手あたりを通過して、小学校の前の変形の三叉路の交差点を越えて教育委員会の真下のところを通過して柴崎方面に歩いていくのですが、その行程も文章中で逐一追えるような形で書いています。11ページから12ページあたり、兵士たちの行軍とすれ違う様子ですが、季節外れの暑い中にもかかわらず、コートを着込んで、苦勞しながら歩いている兵士たちとすれ違い、その後、柴崎の村でカモをかうとあります。当時、我孫子では、カモが非常によい現金の収入源としてあったようで、柴崎の村において、80軒ぐらいの人たちが水田もしくは川・沼のところに、網を張ってカモを捕らえては東京に出荷していたそうです。おそらく、志賀自身がカモを求めにここにやってきたという話とつながります。

16ページ以降、今度は帰り道で、行きに出会った兵士たちが脱水症状を起こして各地でへばっている様子が描かれているのですが、その中で特に注目

したいことが20ページあたり、今まで見ていた兵士たちが、脱水症状だけではなく、当時はやり始めていたスペインインフルエンザ、流行感冒によって体力を消耗しているのではないかということをおうかがわせるような様子だったことです。実際に、この流行感冒で兵士たちが倒れている様子は、一部報道には見られるのですが、その後、全く報道されなくなってしまいます。11月中旬に陸軍の特別大演習というものが茨城方面で開かれることになっていて、その報道が全てを覆い隠してしまっているという様子がありました。

最終的に志賀は、帰り道の我孫子第一小学校の入り口を過ぎたあたりで、そういった行軍を見ているうちに、怒りがこみ上げてきて道を曲がり間違えて、子の神の入り口まで行ってしまい、そこにあった古墳を見て、自分は道を間違えたのだと気づいて、道を引き返して自宅のほうに戻っていくという過程を踏むわけなのですが、我孫子のまちの様々な情報がそこに盛り込まれていて、つぶさに読んでいくと、今まで分からなかったことがとても正確に描かれているということが分かりました。小説というよりも1つの資料として今後読み解いて、地域史の中で生かしていくべきものではないかと思い、今回、この本を刊行しました。今後、『雪の日』『雪の遠足』という我孫子のことについてつぶさに書いたものがありますので、それをひもといて志賀直哉の足跡を追いかけていきたいと考えています。以上です。

○丸教育長 詳しい説明をありがとうございました。

ご質問等ありましたらお願いします。

○足立委員 私は志賀直哉の小説について詳しいことはあまり分からないのですが、こうやって1つの随筆を題材として、当時の新聞や歴史資料に類するようなものを当たりながら、我孫子のまちの様子や世相を知ることができるというのは大変貴重な研究の成果だと思います。じっくりこの報告集を読ませていただきたいと思います。ありがとうございます。

○丸教育長 ありがとうございます。——よろしいですか。

続きまして、『発掘された日本列島2021』について、辻課長からお願いいたします。

○辻文化・スポーツ課長 『発掘された日本列島2021』です。こちらは毎年、日本国内で発掘された主な資料のうち、報告後、整理されて、学術的な位置づけが定まったものについて、各市・県から文化庁を通じて紹介されるものです。今回、8年間かけて調査・研究を進めてきた下ヶ戸貝塚の遺物について、『発掘された日本列島2021』に立候補したところ、採用されたものです。

下ヶ戸貝塚は天王台駅の東側、川村学園女子大学の南側あたり、我孫子第二小学校の西側あたりの台地上になりますが、昭和50年代に発掘調査をして、膨大な遺物が出てきました。報告までに大分時間がかかりましたが、今から大体3,000年くらい前の縄文時代後晩期の非常に良好な資料が出ています。

今回、江戸東京博物館に、土偶、土製の耳飾り、装飾品等々、40点の資料を出品しています。期間は、6月5日から7月4日までです。我孫子の遺物がそれだけメインで展示されることはなかなかないので、ぜひご覧いただきたいと思います。

○丸教育長 ありがとうございます。——よろしいですか。開館されていたら、ぜひ行っていただきたいと思います。

続きまして、スロベニア共和国の女子柔道、女子空手、男子テコンドローの選手3名、オリンピック・パラリンピック事前キャンプについて、辻課長からお願いします。

○辻文化・スポーツ課長 こちらは東京オリンピックのスロベニア代表の事前キャンプを我孫子市が受け入れることになりました。5月24日に協定を締結し、柔道女子1名、テコンドー男子1名、まだ空手女子選手については未定ですが、実施する予定になっています。期間は、柔道女子が7月13日（火曜

日)から7月20日(火曜日)、テコンドー男子が7月17日(土曜日)から7月22日(木曜日)までです。練習場所は、我孫子市民体育館の武道場に畳を敷いて、そこで事前キャンプをする予定です。事前キャンプ期間中は、一般市民との交流はできないという規定になっています。

スロベニアは、イタリア半島の付け根の東側、旧ユーゴスラビアの一番北の国で、北はアルプス、西はアドリア海という大きな海に面している非常によいところだそうです。人口が206万人ほどで、四国と同じぐらいの面積の国です。以上です。

○丸教育長 ありがとうございます。質問等あれば、お願いします。——よろしいですか。

ないようですので、これより事務報告に対する質疑に入ります。質疑があれば挙手をお願いいたします。

○長谷川委員 9ページ、生涯学習課、長寿大学の2年生、概要に「学級組織づくり・校歌&市民の歌学習」とあります。市民の歌というのは存じ上げていたのですが、校歌があるというのは知りませんでしたので、YouTubeで見ってみました。とてもすてきな曲でした。校歌は、いつ頃できたのですか。作曲が大竹先生なので、そんなに前のものではないと思います。

○菊地生涯学習課長 私も定かではないのですが、長寿大学の校歌は、40年以上前かと思います。

○長谷川委員 ありがとうございます。

○丸教育長 ほかにございますか。

○蒲田委員 7ページ、ヤング手賀沼の分校が開室してから1か月ぐらい経ちます。当初は中学生が勉強するために使っているとのことでしたが、現在の使用している人数や雰囲気をお教えください。

○遠藤教育研究所長 最初の頃は4、5名来ていましたが、今は少し減って、

中学生が1、2名ぐらいです。本校は、どちらかというと居場所づくりになっているのですが、分校は静かなので、中学生が静かな場所でしっかりと勉強していて、指導員の先生も授業をしてくれるといった状況です。昨日、本校と分校をICTでつないで一緒に朝の会をしました。報告によると、子どもたちだけでなく、指導員の先生たちも喜んでいただいていたという話だったので、ICTが活用されることによって、みんなが楽しく過ごせていたようです。教室には行くことができないけど、学校の授業を見たいという希望があれば、今後、学校にお願いして、授業の様子をオンラインで映らせていただいて、ヤング手賀沼の分校や本校で授業を見ながら、勉強ができるという形もとれるのではないかと検討している状況です。以上です。

○蒲田委員 ありがとうございます。勉強したい子どもたちが、より勉強しやすい環境になりますようお願いいたします。

○丸教育長 今、遠藤所長から話がありましたが、実際に、学校とヤング手賀沼をオンラインでつなぐことを週に1度は実施できるよう進めていきたいということです。今後、不登校の子どもたちもオンラインでのつながりを持つようにしていきたいと思っています。なお、以前、お話ししたタブレットの家庭への持ち帰りについても6月中には実施したいと思っています。

ほかに事務報告に対して質問等があればお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務報告に対する質疑を打ち切ります。

続きまして、事務進行予定について質疑があれば挙手をお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。事務進行予定に対する質疑を打ち切ります。

次に、教育事業全般について質疑があれば挙手をお願いいたします。

○蒲田委員 以前から、小学生の子どもたちのランドセルが重いので、軽くす

るために、学校にどういう教科書を置いていけるか等を含めて、いろいろな工夫をされてきたことを記憶しています。小学校4年生のランドセルをたまたま持つ機会がありまして、重たいと思ったら6.5キロありました。水筒は空になっていて、上履きは入っていましたが、実際に朝行くときには7キロ以上のものを背負っているのだと思います。高学年・低学年で背負っているランドセルの重さは違うのかもしれませんが、今現在、子どもたちは、どのぐらいの重さのランドセルを背負っているのかと疑問に思いました。子どもたち本人は慣れているから平気だと言っていました。姿勢などに影響がでないか心配です。し、我孫子市の子どもたちの様子を教えてくださいませんか。

○鈴木学校教育課長 2、3年ほど前にその議論があり、なるべく置いていけるものは置いていくようになりました。例えば、いつも使わない道徳の教科書など、使用頻度に応じて、必要のないものはなるべく置いていって、宿題などの必要な物だけは持って帰るようするよう対応し、大分軽くなったと認識しています。現在の状況については、再度実態を調べ、もし重くなっている現状があるなら、改善する手だてをとりたいと考えています。

○丸教育長 ランドセルの重さは、子どもの腰痛を起こす可能性があるということで、3年前に全国的に問題提起されました。文部科学省からその話が出て、改善を行っていましたが、現状については、再度調べなくてはならないと感じています。今後、タブレットの持ち帰りもあり、重さが加わってしまうので、その辺についても気をつけて調査したいと思います。

○蒲田委員 高学年のランドセルを久しぶりに持ったら、こんなに重たいのかと感じました。忘れ物をして、先生に何度も注意されたくない、不安だからいっぱい持っていってしまう子もいて、そのあたりのご指導もしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○丸教育長 来週の月曜日に校長会がありますので、そのときにまたお話した

と思います。ありがとうございました。

ほかに教育事業全般につきまして質問等があればお願いします。——よろしいですか。

それでは、ないものと認めます。以上で諸報告に対する質疑を打ち切ります。

---

○丸教育長 以上をもちまして令和3年第5回定例教育委員会を終了します。  
お疲れさまでした。

午後2時29分閉会